

沿岸地域 FSC 森林認証関係者意見交換会の開催について

1 はじめに

昨今、東京オリンピック・パラリンピックで重視された認証材の利用や、SDGsの実現に向けた企業の取組など、森林認証についての注目が高くなっています。

本県のFSC森林認証の取得状況は、これまで、葛巻町、岩泉町、住田町の3町で約23千haが認証されていましたが、令和3年8月2日に大槌町で856haの認証を取得したことから、沿岸広域振興局管内に全体の87%（約21千ha）が集中することとなります。

このことから、沿岸地域の森林認証の情報共有を図るとともに、認証材の活用推進に向けた課題等を協議することを目的に、該当3町の関係者と意見交換を行いましたので、その概要について報告します。

○ 沿岸広域振興局管内のFSC認証森林

町	面積 (ha)
大槌町	856
岩泉町	6,305
住田町	14,090
計	21,251

2 意見交換会の概要

(1) 出席者

○ 事業者

釜石地方森林組合、気仙地方森林組合

○ 行政

大槌町、岩泉町、住田町

沿岸広域振興局農林部、宮古農林振興センター林務室岩泉出張所、大船渡農林振興センター

(2) 主な意見(課題)

- ・ 認証材の引き合いは強いことから、需要に応えられる供給能力が必要
- ・ 認証材の安定供給に向けて、認証森林の拡大(私有林への制度普及)が必要
- ・ 認証の取得が材価に反映されていないため、認証材の付加価値の向上が必要
- ・ 樹種(広葉樹)を指定した認証材のオーダーに対応するため、多様な樹種のストックが必要
- ・ 病害虫防除に使用する薬剤が禁止薬剤とされたため、効果的な防除方法が必要



3 おわりに

今回は、初めての試みとして、3町の関係者が一堂に会し、制度運用上の悩みなどについて意見交換を行い、それぞれが直面している課題について共有することができました。

認証材の安定供給や、価値の向上等、共通する課題も多く、今後は、沿岸広域で連携できることを模索しながら、さらなる認証材の活用推進を目指していきたいと考えています。